

暮らしに動きを育む



うんていやぐら®

取扱説明書

この度はGRAVOのうんていやぐらをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で正しく組み立ててください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

ver. 2.4.1

2026年07月09日

組み立て手順動画

組み立て前に、以下のリンクまたはQRコードから動画をご覧ください。動画で全体の流れを確認することで、より安全で確実に本製品を組み立てることができます。

また、下記の各ステップの説明では、動画内の該当箇所へのリンクを記載しているので、組み立ての際にご活用ください。

<https://youtu.be/vxGcREltIX0?feature=shared>



動画で解説！うんていやぐらの組み立て方 |
うんていやぐら®

安全上のご注意

表示の説明

 警告	使用者が死亡や重傷（※1）を負うことが想定される内容です。
 注意	使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。
 参考	組み立て時の手戻りや作業ミスを防ぐための重要な情報や、より効率的な作業のための参考情報です。

※1 重傷とは、失明やケガ、骨折などで後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさす。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しないケガをさす。

※3 物的傷害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさす。

	しなければいけない強制事項
	やってはいけない禁止事項

 警告	
 行う	● 体重80kg以下を目安の耐荷重として設定していますが、保証値ではありません。ご使用前に必ず大人が安全性を確認してください。 ● 必要なパーツは必ず全て取り付けて使用してください。取り付けが不完全だと強度が低下し、揺れや破損、ケガをするおそれがあります。 ● 必ず大人の方の目が届く範囲でご使用ください。 ● 特に体の小さなお子様は、頭や首をバーやスタンドの隙間に入れないよう、そばで見守ってください。 ● 落下時のケガを予防するため、マット等を設置してください。 ● 定期的に以下の点検を実施してください。 ○ ボルト締結部のゆるみ ○ つっぱり部のゆるみ ○ 異音等の有無
 禁止	● フードやひものついた衣服、ヘルメット、マフラー、肩掛けかばん等を身につけたまま遊ばせないでください。うんていバーやスタンドの隙間に引っかかり、首がしまるなど重大な事故につながるおそれがあります。遊ぶ前に必ず取り外してください。 ● うんていバーに遊具を引っ掛けてブランコ遊びなどはしないでください。 (※ 吊り系の遊具はうんてい部の梁に取り付けてください。) ● 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちた際に、ケガをするおそれがあります。 ● 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。 ● ネジやナットなどの小さなパーツは、幼児の手の届くところには置かないでください。これらは、誤飲してしまうと窒息などのおそれがあります。

⚠ 注意	
 行う	● 室内での使用を想定した製品なので、必ず室内でご使用ください。 ● 以下の環境条件を守ってください。 ○ 温度：10℃～35℃ ○ 湿度：40%～70% ● 毛羽立ちを発見した場合は、紙やすり等で補修してください。
 禁止	● 遊具の用途以外で使用しないでください。想定外の用途で使用された場合、破損してケガをするおそれがあります。 ● 破損や変形した状態では使用しないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。

パーツリスト



参考

うんてい部等に貼り付けてマスキングテープは、組み立ての際に必要な「目印」なので、組み立てが完了するまでは剥がさないでください。

同梱物一覧



[動画で見る \(0:12\)](#)

スタンドオプション (下記のスタンドのうち2つが入っています。)

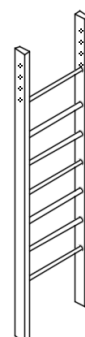
(s) ステップスタンド



(t) 鉄棒スタンド



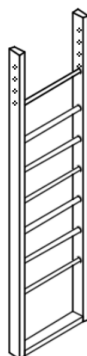
(r) はしご / 肋木スタンド



(b) ボルダリングスタンド



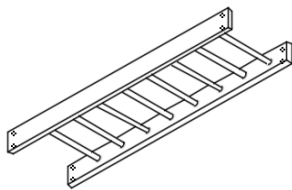
※ 畳仕様の場合
スタンドの下に板が付属



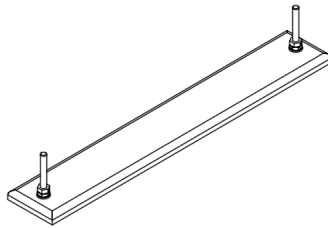
畳仕様

共通パーツ

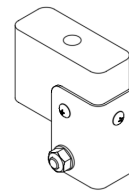
(A) うんてい部 × 1式



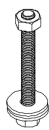
(B) 天井当て板 × 2枚



(C) アジャスター × 4個



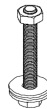
① ボルトセットA(M10) × 8式



うんてい本体用

(M10 × 90 または M10 × 100 ボルト / ナット / ワッシャ 2枚)

② ボルトセットB(M10) × 4式



アジャスター用

(M10 × 60ボルト / ナット / ワッシャ 2枚)

③ ワッシャ(M10) × 4枚



(アジャスター用)

④ ナットキャップ × 24個

※ 分割構造の場合は56個

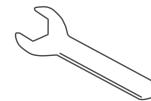


⑤ 穴キャップ × 16個

※ 仕様により増減あり

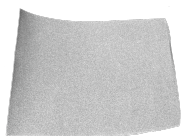


⑥ スパナ × 2本



(17mm スパナ)

⑦ 紙やすり × 1枚



⑧ ボルトセットC (M10) × 16式

※ 分割構造の場合のみ



分割構造組み立て用

(M10 × 75 / ナット / ワッシャ 2枚)

必要な工具

プラスドライバー



メジャー



直角を測るもの



組み立て手順

注意



- 組み立ては、大人2人以上で行うことを推奨します。1人で作業すると、転倒や破損、ケガをしたり、床を傷つける可能性が高まります。
- 組み立て時は、組み立てに必要なスペースを十分に確保し、敷物を敷いてください。床や既存の家具の傷防止になります。

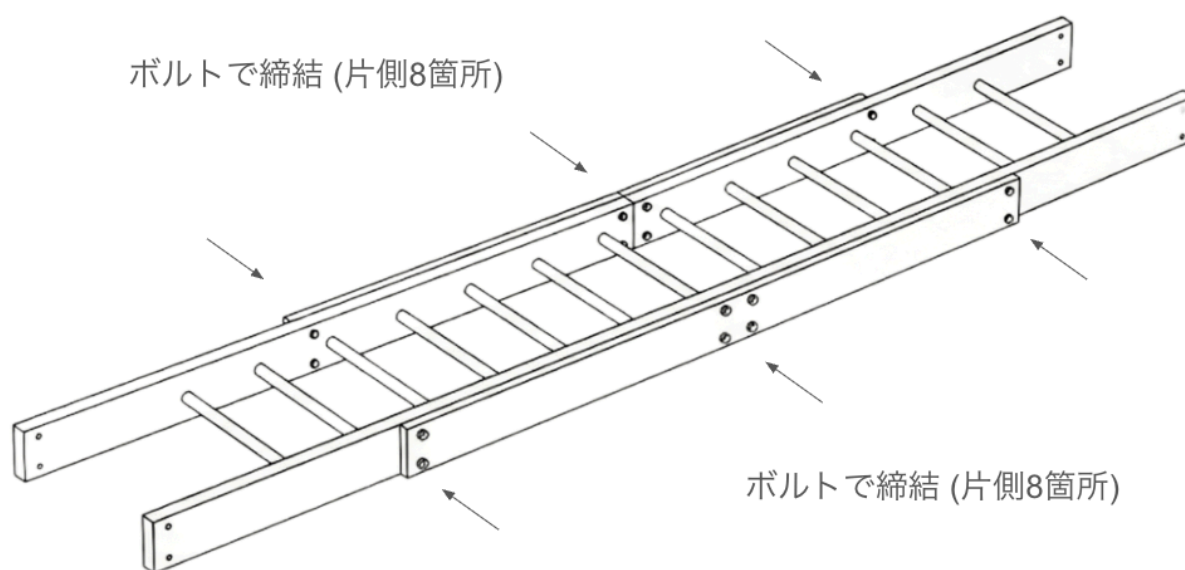


参考

ネジ・ビス等を落とすと床を傷つける可能性があるので、タオル・マット等を敷いて作業することを推奨します。

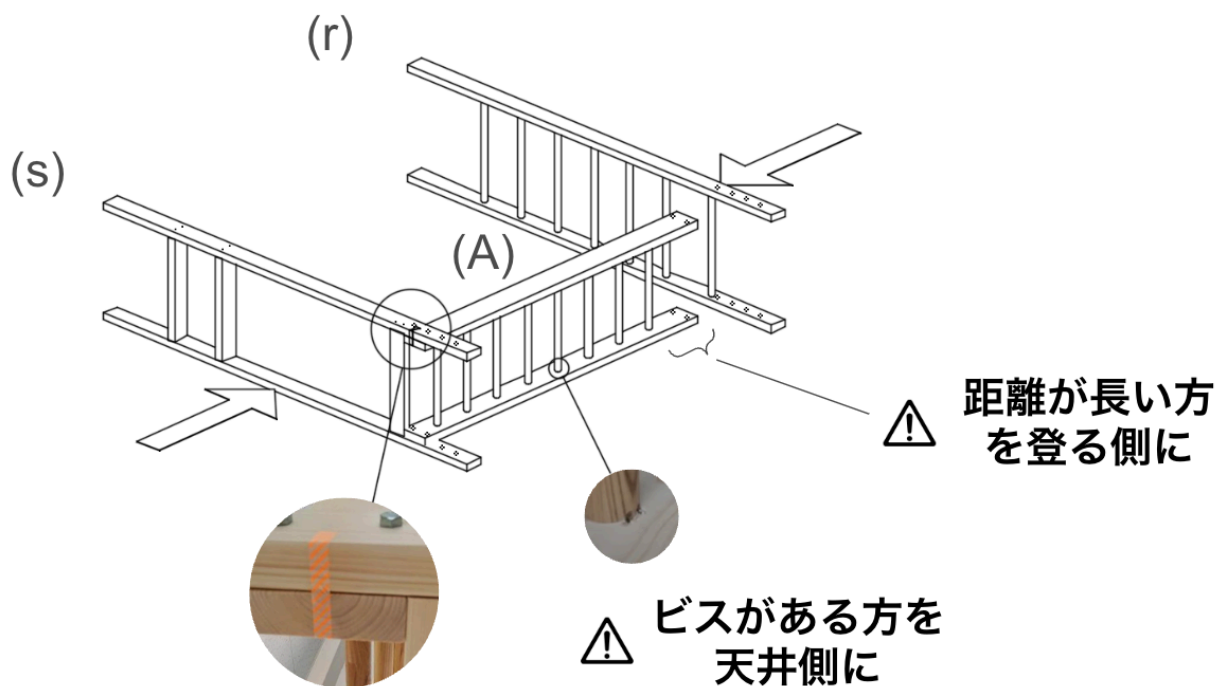
Step 1. うんてい部を組み立てる (分割構造をお選びの場合のみ)

うんてい部の両方に長さ2mの薄い板を重ね、⑧ボルトセットC（ボルト長さ：7.5cm）で合計16箇所を締結する。④のナットキャップを32箇所につけます。



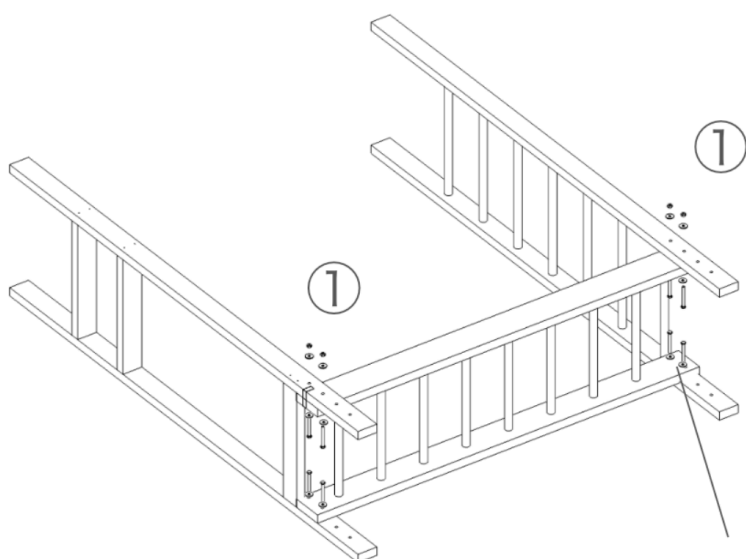
Step 2. 2つのスタンド[※]を (A) うんてい部に挿入

※ 下記の例は、(r)と(s)のスタンド場合



 [動画で見る \(0:47\)](#)

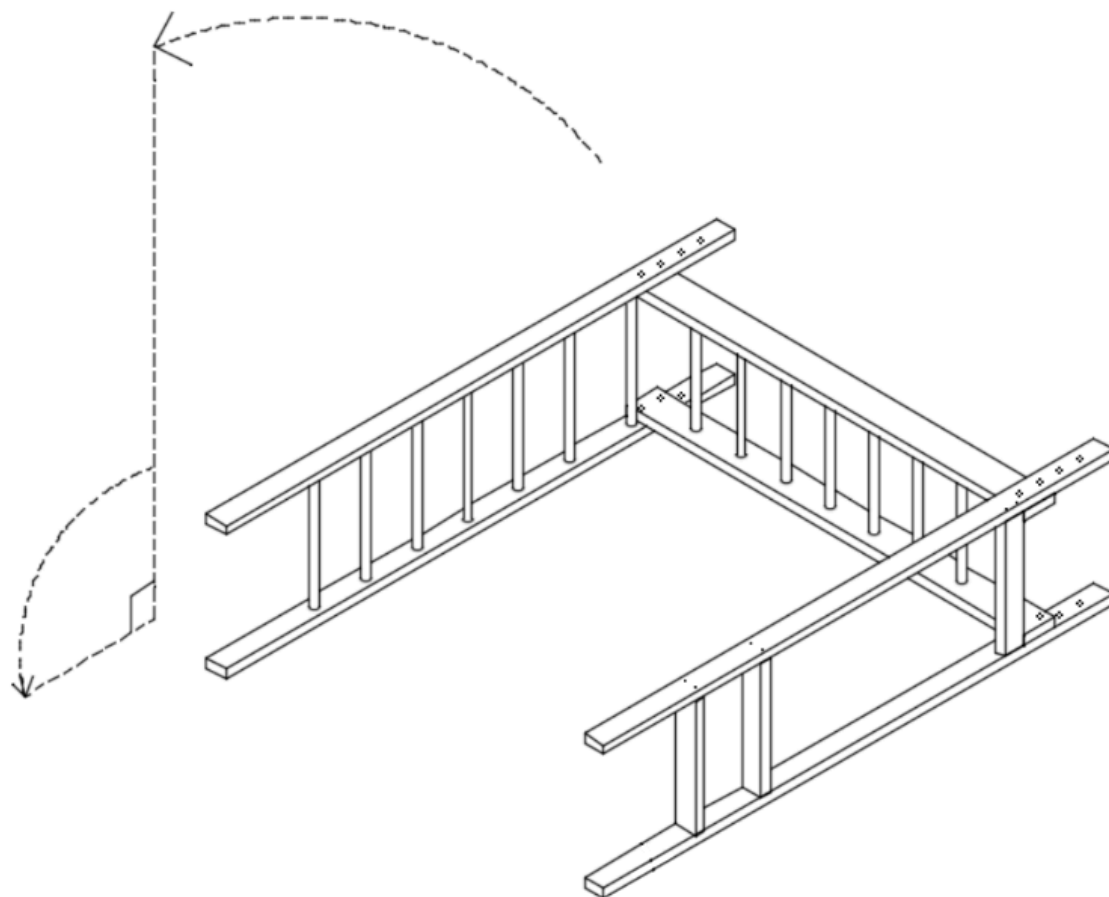
Step 3. うんていを① ボルトセットAで仮留め



⚠ 床側は差し込むだけ

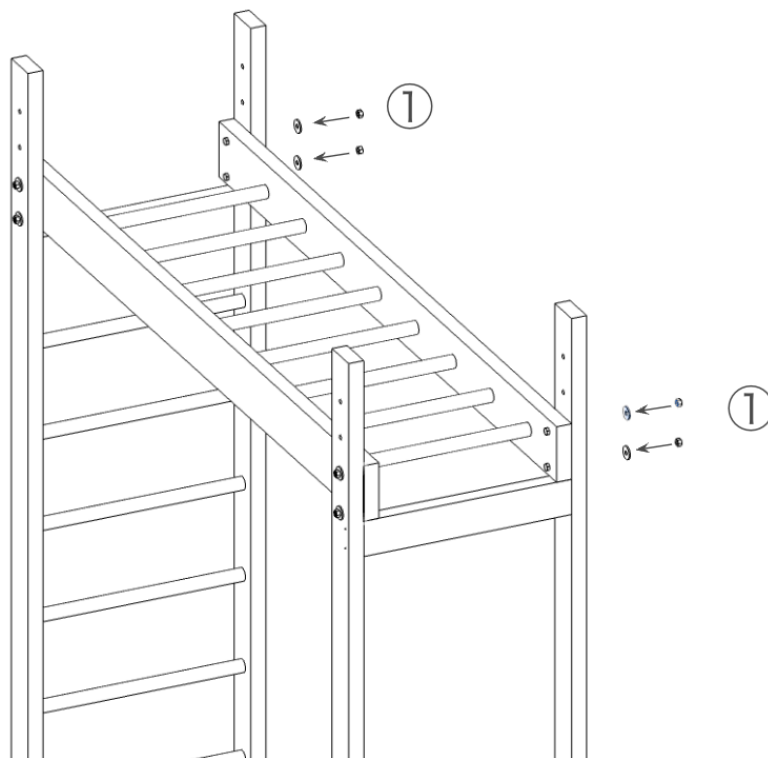
 [動画で見る \(1:23\)](#)

Step 4. うんていを起こす



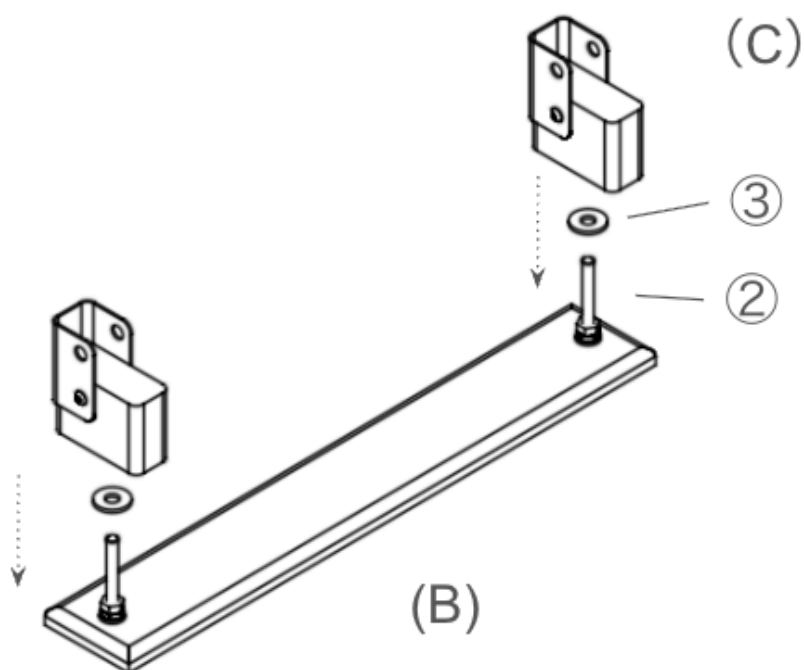
 [動画で見る \(1:59\)](#)

Step 5. 起こしたうんていの裏側も①ボルトセットで仮留め



 [動画で見る \(3:15\)](#)

Step 6. 「つっぱり機構」を作る



 [動画で見る \(3:22\)](#)

Step 7. 「つっぱり機構」をうんてい部に乗せる

注意

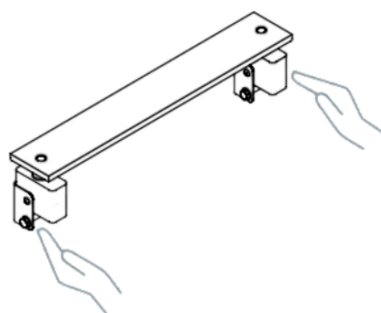


アジャスター部分を持って持ち上げてください。アジャスター部分が落ちると、怪我や床が傷つく可能性があります。

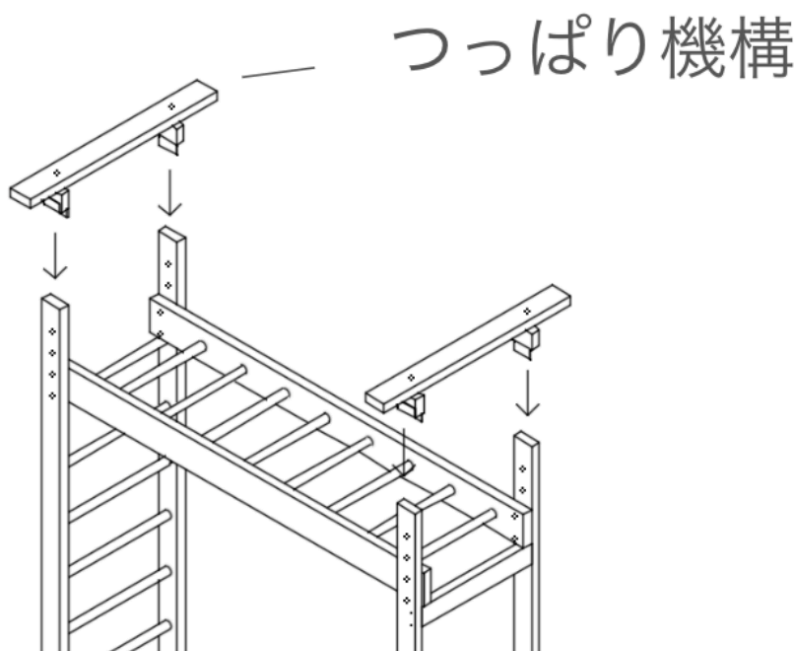


参考

アジャスターのビス留めの位置は、内側でも外側でもどちらの向きでも問題ありません。設置場所に応じて、作業がしやすい方に設定ください。



固定されていないので
アジャスターを持つ



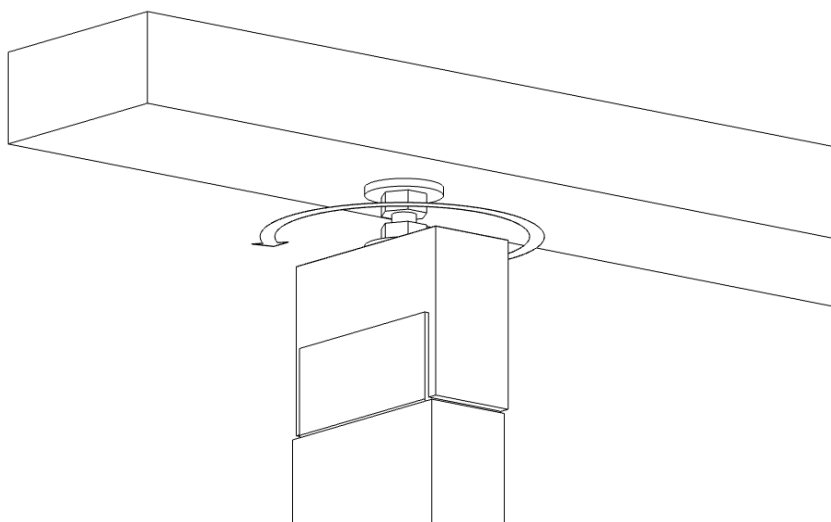
[動画で見る \(3:36\)](#)

Step 8. 下側のナットをしめて「つっぱり機構」をつっぱる



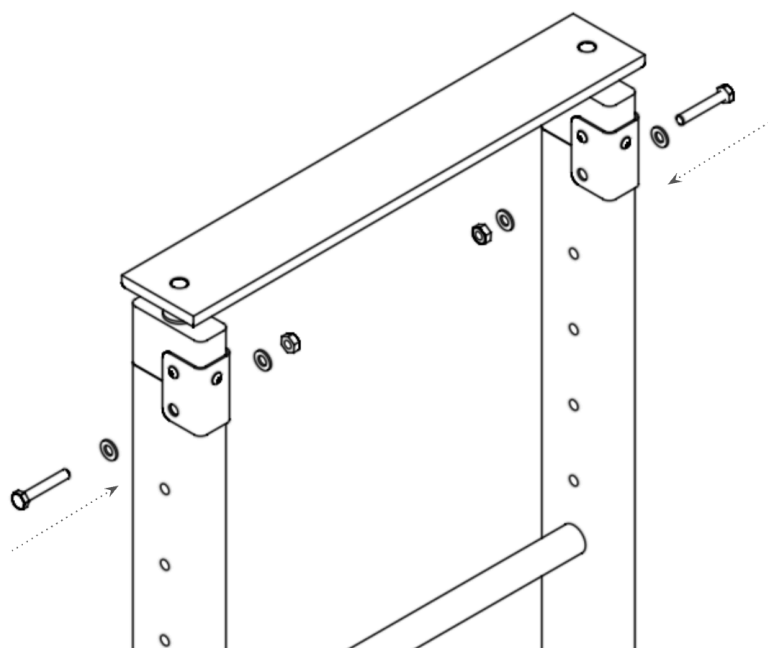
参考

- 天井板が天井に触れるまでつっぱったのち、柱の垂直を確認してください。
- 垂直を確認した後は、ナットを一周ずつ各柱を均等につっぱってください。



 [動画で見る \(4:15\)](#)

Step 9. つっぱり機構を②ボルトセットBで固定 (2箇所 x 4本の柱)

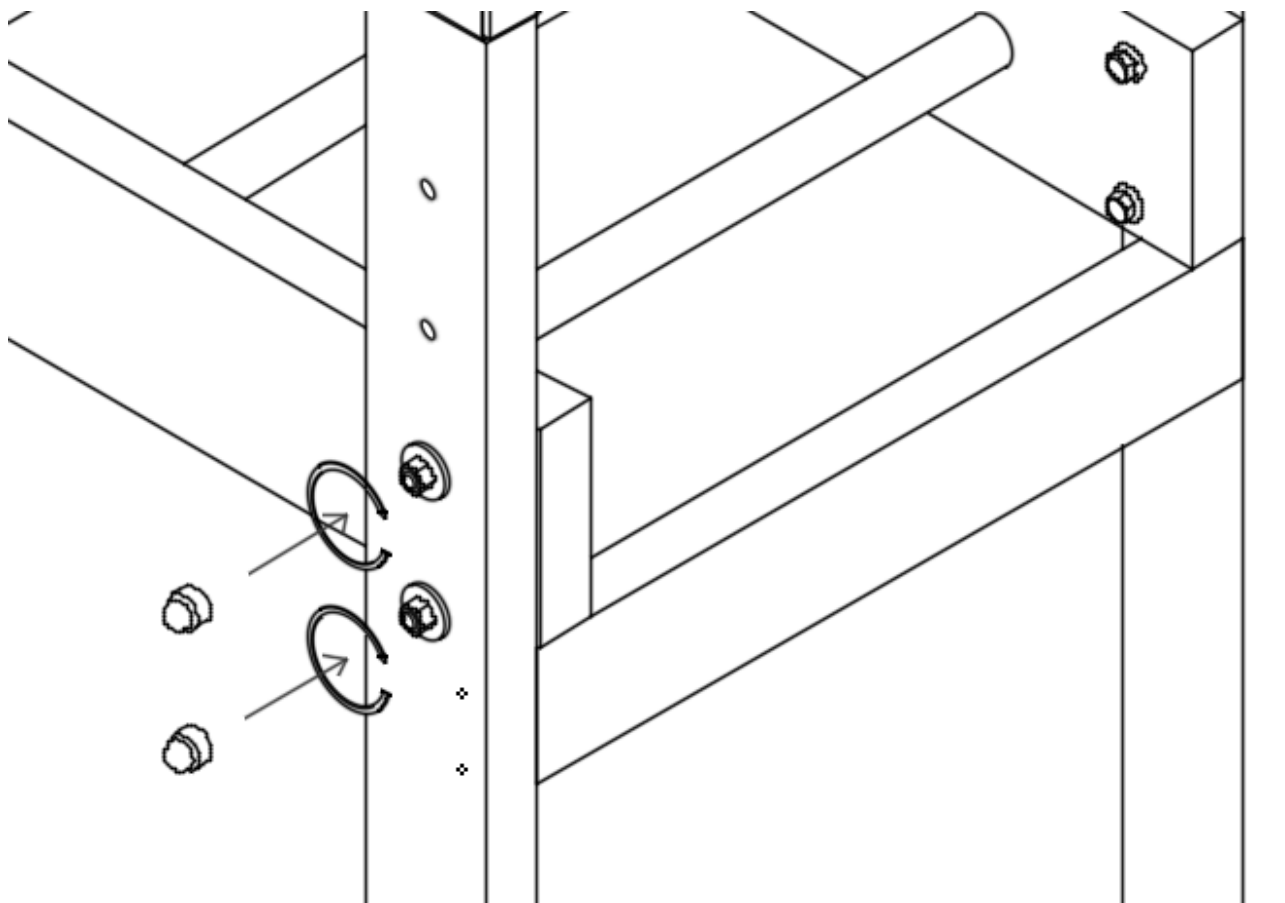


Step 10. 側面の仮留め①ボルトナットを本締め（8箇所）



参考

- 本締めをする前に、一度うんてい部にぶら下がって体重をかけ、各所の噛み合わせを安定させてください。



 [動画で見る \(4:46\)](#)

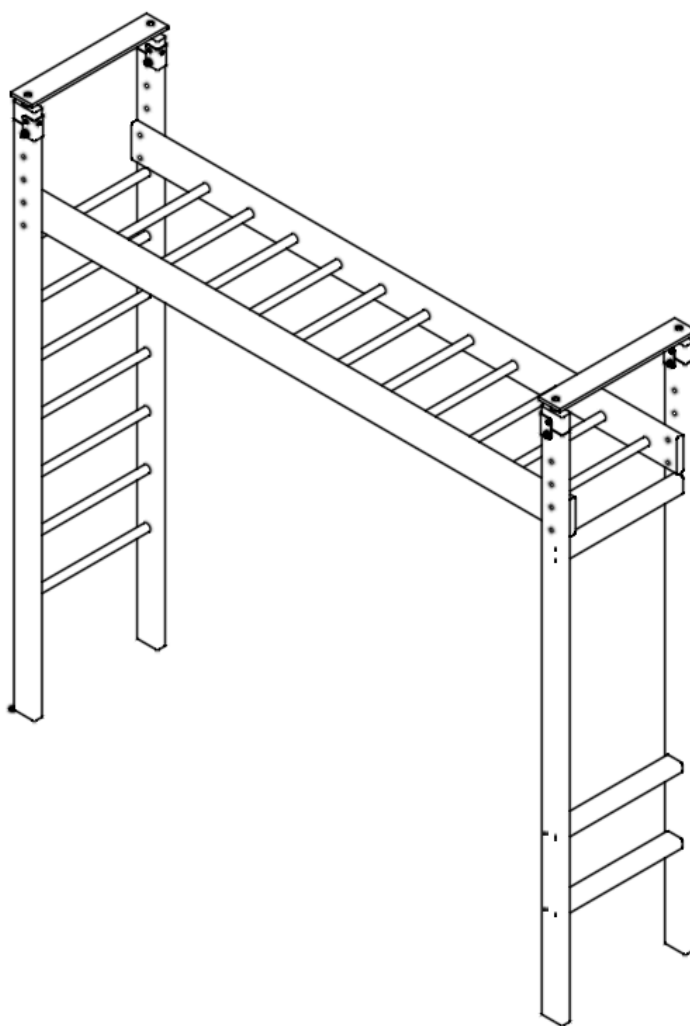
Step 11. 大人による最終テスト

⚠ 警告



行う

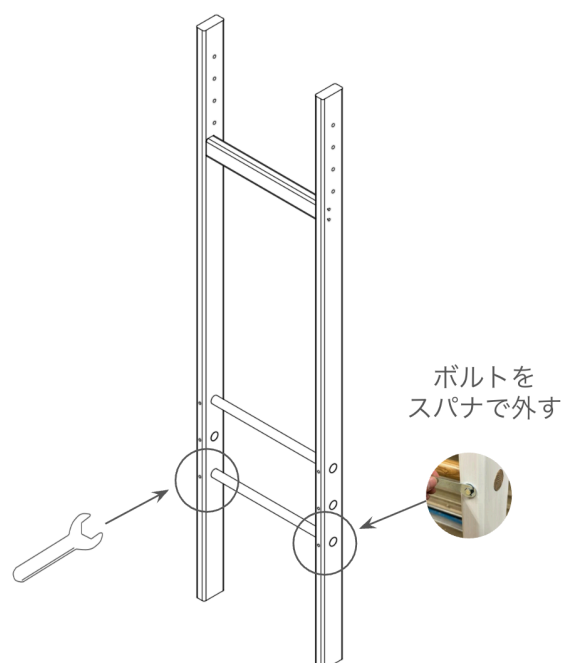
- ご使用前に必ず大人が以下の安全性を確認してください。
 - ロープやハンモックを使用したスイング動作
 - うんていや懸垂での強度確認
- つっぱり部に緩みがある場合は増し締めを実施ください。



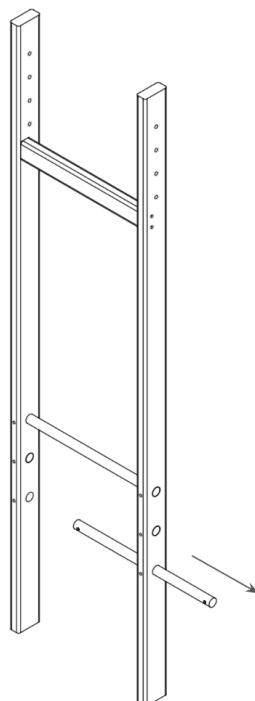
[動画で見る \(5:02\)](#)

鉄棒バーの着脱手順 (外し方)

Step 1. 鉄棒の両端のボルト（合計2本）を外す



Step 2. 鉄棒バーを横から引き抜く



Step 3. 穴埋めキャップを挿入

空いた穴に、付属の穴埋めキャップ（太さ 32mm×長さ 40mm）を挿入し、ボルトとワッシャで締結する。

鉄棒バーの着脱手順（着け方）

着け方は、外し方の逆の手順になります。

Step 1. 鉄棒バーを横（柱の側面）から挿入する。その際、鉄棒バー端部のナット部の位置が、柱の穴と合うようにバーを回して調整する

Step 2. ボルトとワッシャで締結する。本締めには付属のスパナを用いる

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

株式会社 GRAVO

<https://gravo.jp/contact/>